

会議の名称	令和5年度 第1回吉川市食育推進協議会
開催日時	令和5年7月12日(水) 午前9時00分から10時30分
開催場所	吉川市保健センター 母子保健指導室
出席委員(者)氏名	西村早苗委員(副会長)、田村芳之委員、下村悠太委員、見村和明委員、川島久子委員、林晴彦委員(会長)、大塚江美委員、今岡由美委員、小倉滝子委員、北原真希栄養士
欠席委員(者)氏名	飯田美奈委員
担当課職員氏名	健康増進課課長 互英久 健康増進課健康増進係栄養士 山菅総子
会議次第と会議の公開又は非公開の別	1 開 会 2 あいさつ 3 議 事 配布資料について 資料1 食育基本法と関係計画の概要 資料2 第3次吉川市食育推進計画策定スケジュール(案) 資料3 食育アンケート 調査結果 資料4 第2次吉川市食育推進計画の評価について 資料5 第3次吉川市食育推進計画 構成(案) 4 第2回 吉川市食育推進協議会の開催日程について 5 閉 会  会議は公開
傍聴者の数	0人
会議資料の名称	資料1 食育基本法と関係計画の概要 資料2 第3次吉川市食育推進計画策定スケジュール(案) 資料3 食育アンケート 調査結果 資料4 第2次吉川市食育推進計画の評価について 資料5 第3次吉川市食育推進計画 構成(案)
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	西村早苗委員、田村芳之委員
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
話者	発言内容
○会長・副会長の互選(会長:林晴彦委員 副会長:西村早苗委員) ○議事	
会長	<p>それでは、皆さんご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>議事に入る前に2点ご報告がございます。</p> <p>まず、吉川市食育推進協議会設置要綱第6条第4号に、会議は会長が必要と認めるとき、または会議の決定があったときは、委員以外の者の出席を求め、説明または意見を聞くことができると規定されていることを受け、事務局提案により、吉川市学校給食センター栄養士の出席を求めたいと考えますが、よろしいでしょうか。</p>
	(異議なし)
会長	<p>ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、本日の会議の会議録署名人につきまして、恐縮ですが、私の方から指名させていただきます。本日は名簿順に上から、西村委員と田村委員にお願いします。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p> <p>また本会議は、会議傍聴要領に基づき公開とし、傍聴を認める者の人数を5名とすることを報告いたします。</p>
会長	<p>それでは議事の方に入りたいと思います。</p> <p>配布資料についての【資料1 食育基本法と関係計画の概要について】、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>【資料1 食育基本法と関係計画の概要について】のとおり説明。</p> <p>この資料作成中は、県計画としては第4次の食育推進計画が現行計画になりますが、この計画は今年度末までの計画ですので、県も市と同様に、第5次計画の策定を進めているところです。</p> <p>資料には盛り込めませんでした。直近で第5次計画の策定方針が出てまいりましたので、口頭でお読みしたいと思います。</p> <p>埼玉県計画の策定方針としては、まず、栄養バランスの良い食事に関わる項目を改善する、重点的に推進するということ、それから、国の現行第4次計画を勘案した目標とするということ、そして、指標や目標値については、他の計画との整合性を図ること、さらに、県計画で新たに災害への備えというところに力を入れて、非常食等について盛り込むようですが、吉川市に関しましては、地域防災計画という別計画を設けており、そちらで食料の備蓄等について触れておりますので、特段、今回の食育推進計画に含まずとも指標があるものと捉えてございます。</p>

事務局	<p>現行の第 2 次吉川市食育推進計画につきまして、ピンクの表紙の冊子をお配りしていますが、そちらの計画終了期間の印字が平成 34 年度までとなっていることについて、一点訂正いたします。本計画は、市健康増進計画と整合性を図っており、市健康増進計画は県健康増進計画に合わせて策定しています。県健康増進計画が国計画と整合性を図るために、施行期間を 1 年延長することになり、併せて市健康増進計画、市食育推進計画も令和 5 年度まで期間を延長しております。</p>
会長	<p>ただいま事務局から、資料 1 について説明がありました。何かご意見やご質問等ありますでしょうか。</p>
会長	<p>推進計画というのは、国の計画があって、それを受けて県、それを受けて吉川市という流れではないのですか。</p>
事務局	<p>食育基本法の中で、市町村については第 18 条でうたわれておりますが、それ以外にも都道府県の責務ですとか、国の責務について定められています。</p> <p>その中で、県も計画を作るように努めなさい、市町村も努めなさいというように、責務についてうたわれています。</p> <p>また、県計画においても、市町村の役割として計画の策定が期待されています。</p> <p>各計画に齟齬があると国民の指標になりませんので、各計画と整合性がとれるように各自策定している状況です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは他にないようですので、次の資料に移ります。</p> <p>次に【資料 2 第 3 次吉川市食育推進計画、策定スケジュール案】について事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>【資料 2 第 3 次吉川次食育推進計画策定スケジュール案】のとおり説明。</p>
会長	<p>はいそれでは事務局から資料 2 について説明がありました。</p> <p>こちらについて何かご意見ご質問等ありましたらお願いします。</p> <p>それではないようでございますので、次の資料に移ります。</p> <p>【資料 3 食育アンケート調査結果】について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>【資料 3 食育アンケート調査結果】のとおり説明。</p> <p>調査の対象者ですが、①市内の小・中学校に通学する児童生徒のうち、小学 5 年生および中学 2 年生にご協力をいただいております。</p> <p>また、②その小学 5 年生中学 2 年生の保護者の方へ、保護者向けアンケートを実施してございます。</p> <p>この①番、②番を先に実施し、回答された保護者の方の年代や性別を加味しまして、それらの年代の方に二重に届くことを避ける為、それ以外の年代の方と比率を調整した上で無作為抽出した市内在住の 20 から 70 歳の方に向けて③一般市民向けアンケートを実施してございます。</p> <p>そのため、一般の欄は、30 代 40 代の女性を少し減らした層、反対に保護者の欄では、30 代 40 代女性が主な層からの回答でございます。</p> <p>回答していただける年代や性別等には少し偏りがあるような状況でございましたが、前回実施しています平成 27 年度から大きな割合の変化はございませんでしたので、概ね比較対象になるものと考えております。</p>

事務局

朝食でよく食べているものは何か、朝食を食べている方にだけお聞きし、3割を超える項目だけ太字にしておりますが、複数回答で調査しているため、この四つを揃えて食べているのか、それともご飯だけを食べている方、牛乳だけ飲んでいる方が高い割合いらっしまったのかという集計は困難でした。次回調査する際には、バランスを揃えて食べられているのかどうかということも調査項目として検討したいと思っております。

健全な食生活を実践するために参考にしているものはあるか、複数回答可の項目では、吉川市では市独自にバランスガイドを作成しており、第2次食育推進計画にも挟み込んでございますが、この周知が引き続き必要だと感じる結果でございました。

普段から適正体重の維持に気をつけた食生活を実施していますか、続けて、減塩に気をつけた食生活を送っていますか、という項目に関しては、生涯取り組むべき課題ですので、引き続き周知を図っていきたいと考えてございます。

健康診断の受診について、今回の調査結果の中でも大きく変化のあった項目でした。毎年健康診断を受けている方の割合が、平成20年度では42%だったところ、平成27年度では55%、今回72%という結果になりました。10人中7人は毎年健康診断を受けているということで、健康意識の向上が感じられる結果ととらえております。

あなた自身または家族が農林漁業に関する体験をされたことがあるかという項目は、年々減少が見られておりますが、機会を設けていない訳では無く、今日いらしていただいておりますいかつ農協組合、商工会、青年会議所等でご参加いただける事業をお持ちのことと思っておりますので、そのPRに努めるべきと感じられる結果でございました。

食品ロスという問題を知っているかという項目も大きな上昇が見られております。ある程度知っている・よく知っている、合わせますと9割近い方が食品ロスに興味をお持ちで、この上昇傾向は非常に良いものと捉えています。

自由記載のご意見のうち、30番については事務局から補足いたします。

「アンケートは紙じゃなくて、ネットにしましょうね」とご意見がありますが、今回の調査は、紙回答か電子回答かお選びいただける形で実施しております。

説明文の言い回しが分かり辛かった可能性を考慮し、次回検討したいと思っております。

36番「吉川市のホームページなので、健康的な献立を載せて欲しい」というご意見につきまして、事務局から補足いたします。当市で1週間分の献立レシピ集を作成しており、ホームページに掲載しておりますが、その周知が上手くいっていないものと認識しております。

52、62番、63番の部分で、「食育に関するボランティアはどのようなものがあるか」「どのようにしたら参加できるか」また「食育関係の資料について入手方法などを知りたいです」とございました。本日の委員にもボランティア団体の方がいらっしまいますので、周知、PR不足と認識しております。

事務局	<p>66 番で「世帯主ではなく妻宛に来た食育に関する手紙に意図はありますか。食育を考えるのが女性の役目のような手紙とアンケート不愉快です」とのご意見ありましたので、事務局から補足いたします。無作為抽出により男女とも比率を調整してお手紙している都合上、男性だけに来るご家庭も、女性だけに来るご家庭もありまして、決して女性に限って調査したものではありませんので、ご理解いただければと思います。</p> <p>最後に、児童生徒向けアンケートについてのご説明をさせていただきます。</p> <p>朝ご飯を他の家族と一緒に食べる頻度について、中学生ではほぼ毎日食べるという方が前回調査よりも増えておりました。コロナ禍によるテレワーク等の影響かと考えますが、良い傾向と捉えてございます。</p> <p>8 番、あなたは家で家事、食事作りのお手伝いをしますかという項目について、資料の矢印の位置の訂正がございます。9 番、どのようなお手伝いをしていますかという質問は、お手伝いをしている上段3項目の方への追加質問でしたが、矢印が下段の 3 項目を示しているため、ご訂正をお願いいたします。なお、8 番の回答としては、毎日している方に減少がありました。前回調査では、小・中学生とも 20%以上が毎日お手伝いをすると回答していたところ、今回は 10%にも満たない状況であり、逆にあまりしない方が 50%前後いました。習い事等で、食事を準備する時間に子が不在という状況も考えられるかと思えます。</p> <p>9 番の追加質問は複数回答で、実践しているお手伝内容を全て選択する方式です。3 割以上が実践している項目を太字にしております。前回調査では、買い物に行く、料理をする、盛り付ける、といった調理中のお手伝いが多く見られましたが、今回調査ではそれらよりも、お皿を並べる・運ぶ、片付けるといった、調理後に携わる項目の方が多く回答されました。多くあったと言いつつも、前回調査では 70~80%実践されていたことを考えると、やはりお手伝いの習慣が薄れつつあると見受けられます。</p> <p>最後に 12 番、授業以外で運動したり、体を使って遊んだりすることはどのくらいあるかについて、お休みの日も含めて回答お願いしています。中学生で非常に大きな変化がございました。</p> <p>毎日体を使って遊ぶって子方が前回調査では 50%以上いたところ、現在は 20%程度に落ち込んでいました。</p>
会長	<p>ただいま事務局から資料 3 について説明がありました。</p> <p>ご意見、質問等がありましたらお願いできればと思います。</p>
委員	<p>学校給食の食べる時間が、すごく短いと感じています。</p> <p>ゆっくりよく噛んで食べる事は大事なことです。</p> <p>幼稚園のときは”丁寧に、色々なものに感謝しながら、ゆっくりよく噛んで、楽しく食べる”という食育から始まったはずが、小学校に上がった途端”静かにさっさと食べる”という方針になっています。</p> <p>この前イベントを開催した際に、食育インストラクターの方々もとても気になっていると話していたのですが、その状況はいかがなものでしょうか。</p>

会長	<p>各学校によって異なると思いますが、東中学校の現状をお話します。</p> <p>まず、“楽しく、班の皆でワイワイ食べましょう”から、このコロナで“黙食”になり、全員が前を向いて給食を食べる状況になっています。</p> <p>今年 5 月 8 日を過ぎてから、以前の状況に戻す学校も出てきていますが、まだ市内でも 2 校程度です。現状が良いとは思っていませんので、以前のような形に早く戻ればと思っているところです。</p> <p>時間の問題も出ておりましたが、中学校では、配膳準備から片付けまで約 30 分です。中学生は手慣れており小学生よりは早く準備ができますので、食べる時間が大体 15 分程度、準備が遅いと 10 分程度と思われます。先ほどの通り黙食であり、小学生よりは食べるのも速いため、“時間がなくて食べきれない”という様子はないと担任教員から聞いています。時間とは関係なく、“食べない”生徒もいるので、その指導をしていきたいと話していました。</p> <p>小学校は、多少中学校より長く設定しているようですが、こちらのアンケートでは 10 分しかないと書かれています。中学校と同程度の時間しか取れないとなると、やはり小学生には食べきれない気がしますが、準備から片付けまで恐らく 50 分ぐらい見込んでいますので、準備が速くできるようになってくれれば、もう少し時間が取れると思われます。</p> <p>小学校の現場は確認できていないため、予想の範囲で恐縮です。</p>
委員	<p>時間内に食べさせるといった感覚に保護者として違和感があり、改善できると良いと思います。</p>
会長	<p>もう少し食育を大切に、食べる時間をとりたい気持ちもありますが、1 日のカリキュラムが多数あり、その中に位置づけられているのが現状と感じます。ただ、食事の時間は大切なものだという事は把握しておりますので、また考えていければと思っています。</p>
副会長	<p>その件に関して、給食センター栄養士のお立場からいかがでしょうか。</p>
栄養士	<p>現在中学校では喫食時間としまして 15 分以上、小学校は 20 分以上、各校で確保できております。一番問題になっていきますのが、先ほど会長からもお話があった“準備の時間”でして、非常に長くかかっており、喫食時間が短くなっているようです。</p> <p>先ほどアンケートに家庭でお手伝いについての項目がありましたが、お手伝いをしていない子が増えておりますし、している内容も、盛り付けをするという項目が非常に少なくなっています。</p> <p>そういった経験が、給食の準備への手間取りに繋がっているのではと感じました。</p>
会長	<p>体感として、実際に子育てをされている中で、お手伝いについていかがでしょうか。</p>
委員	<p>物価の高騰等があり保護者は働かざるを得ない現状ですので、時間が無い中、親がささっと調理してしまう家庭が多いと思います。</p> <p>我が家では、休日は子も一緒に調理しています。そういった機会を持てる家庭が増えるよう、イベント等があると良いと思います。</p>

<p>栄養士</p>	<p>給食の準備については、小学校入学時に問題になります。          現在、公立保育所 2 か所で、昼寝が無くなる年長を対象に、実際に給食で使う食缶等を貸し出し、配膳の練習で経験を積んでいるところでございます。          盛り付けは年中から始めているとのことでしたが、トレーをまっすぐ持って運ぶことが難しい様ですので、そういった練習も実施しています。          それが市内の保育園に広まっていくと良いと考えています。</p>
<p>会長</p>	<p>その辺どうでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>”準備の時間”が話題になっていますが、我々もそこを解消したく、5月のコロナ対策緩和後、最初に復活させたのが、配膳の準備の練習で、年中と年長から始めました。          小学校の先生に「保育園あがりの子は配膳がとても上手ですね。」と仰っていただきますし、やはりそこを練習していかないと、時間がかかり食べる時間が確保できないと伺いました。          栄養士から発言のあった取り組みに加え、年長頃から給食の時間が20分位という時間の感覚も意識させるようにしまして、その辺りも小学校への意識付けとなり、小学校への移行がスムーズになると考えており、広がっていけば良いと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。やはり小学校に上がってすぐに給食が始まりますので、その練習を事前にしていただけることはありがたく思います。          中学生の場合は準備自体は速いのですが、取り掛かるまでに時間がかかることがあるようです。他校も同様と思いますが、本校でいうと、東中学校は非常に子どもたちが真面目で、終わるとすぐに着替えてぱっと行くので、食べる時間は取れています。準備できればすぐ食べ始めますので、喫食時間というよりは、時間があっても食べないという違う問題も出てくるのかと考えているところであります。           ありがとうございました。その他ありますでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>一度に地場産物を扱う方々が集まる貴重な機会ですので、地場産物を購入できる機会ですとか、価格、農業の体験の機会について等、ご自身のご所属からいただける情報があれば順番にお願いしたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>商工会に係る部分という、会員の事業者さんの中には特産品を扱う事業者もあり、商工会で”なまず”に関する特産品の開発をお願いしました。せんべい、和菓子、グッズ等色々ありますけれども、それらを販売している所として、吉川駅前にありますラッピーランドというお店を利用していただけです。          また、市民まつりの中で商工まつりを開催しておりますし、各種イベントにも協力しておりますので、そういった機会を活用して頂けると良いかと思っております。</p>

委員	<p>アンケート自由記載 12 番の田植え稲刈りの体験関係について、55 番も重なりますが、北谷小学校 5 年生では、私の会社と農協と協力して、体験田植えと稲刈りを行っております。</p> <p>他校で他の会社協力で実施があるかわかりませんが、北谷小学校は自身の会社が協力しているため把握しています。</p> <p>これから農協等を通じて他校にも広げていくという事になると、学校側の課題も出てくると思います。</p> <p>しかし、会社の人数や、田植えの期間等もあるので、全小学校に協力できるかというと、私の会社だけでは厳しく、他の法人、個人の協力を得る必要があると思います。協力的な会社、組織に、分散させてもらえれば、我々もできるところは協力したいと思います。</p> <p>41 番のナマズの例ですが、例えばナマズは吉川市の特産になっていますが、実際ナマズの養殖を大きく担っているのは吉川受託協会一か所と思われます。</p> <p>価格を下げたり、流通しやすく、と考えるとナマズの養殖をやる方を増やすような努力を市が実施していく必要があると感じます。</p> <p>例えば補助金を出さず等、そういった補助を出して新しい事業者を作っていく他、現在養殖している一か所が辞めてしまえば、吉川市に養殖場は無くなってしまいますので、その部分も市の課題として考えていかなければ、ナマズに関しては正直厳しいと思います。</p> <p>”食べるとしても高級品”という意見も、確かに市内の料亭で出している印象ですが、市民まつりでナマズのたたきの販売をしています。</p> <p>もし、食べたことが無いとすれば、市民まつりで食べられる事をアピールして、少しでも多くの方に食べていただけるような努力をすればいいのかなと思います。</p> <p>また地場産野菜の価格については、農家も非常に苦しい状態です。コロナの影響で肥料や農薬が、コロナ前より倍の価格になってしまっています。</p> <p>燃料も高騰していますし、自然と価格帯が上がってしまうのは、世間一般どうしようもない状態です。</p> <p>資材費が上がっている以上、これからも米や野菜の値段は上がっていく一方だと思います。その辺りは、これから国単位で考えていかなければ、農家だけではとても対応しきれない状態になっています。</p>
委員	<p>確かに今、農家の方が直売所に野菜等を持ってきていただいて売り出す際、その価格は若干上がってしまっている現状です。</p> <p>できるだけ安く地産地消ということで、売り出したい気持ちはあるんですけども、資材関係のところ、値上がりしているのかなと感じます。</p> <p>また、田植え体験について、コロナが5類に変わったということで、様々な活動が実施できるかと思います。</p> <p>小学生が農協の倉庫内を見たり、どうやってお米ができるのかを勉強したり等、普段食べるだけではなく、どういうふうにできて口にしているのかという所まで体験していければ、今後いい方向に変わってくるかと考えておりますので、またイベント等も増やしていきたいと考えています。</p>



会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>給食でも毎年ナマズの日にはナマズを使った料理を出していただいて、子どもたちは必ず年に1回ですけどもナマズに触れております。</p> <p>また、地産地消という点では吉川産の野菜もたくさん出していただいております。</p> <p>そういう点で、子どもたちも吉川に触れているのかなと感じております。</p> <p>食品ロスに関して関心が高まっているということで、ご意見いかがでしょうか。</p>
委員	<p>料理教室を開いた際、食品ロスをなくす取組として、参加者に余った食品を持ち帰るためのバックを購入してもらい、余った物、食べきれない物を持ち帰りました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>日本ではドギーバッグが外国ほど浸透していない印象ですが、安全面を優先に考えているのかなと感じる所です。</p> <p>それでは、その他ご意見ありますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは【資料4 第2次吉川市食育推進計画の評価について】事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>【資料4 第2次吉川市食育推進計画の評価について】のとおり説明。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>こちらに関して何かご意見ご質問ありますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>なかなか家族と一緒に食べる機会も少なくなっている感じがしまして、寂しく思いますね。</p> <p>それでは、次に【資料5、第3次吉川市食育推進計画構成案】について説明をお願い致します。</p>
事務局	<p>【資料5 第3次吉川市食育推進計画構成案】についてご説明いたします。</p> <p>第2次計画構成というところが、現行のピンクの表紙の計画の構成でございます。</p> <p>第2次計画の際、この内容で特段不便はございませんでしたので、第3次計画も同じ構成で進めていく予定でございます。</p> <p>第3次計画の取り組むべき課題について、事務局の見解としては、アンケート調査結果や国・県の動向から、引き続き健全なからだづくりは重視すべき点と考えております。</p> <p>引き続き、未達成の目標値の向上に努めたいと考えます。</p> <p>またアンケート結果の中で、食育の関心・実践、共食の機会、生産者・調達者への感謝の心といった項目が伸び悩んでいることを受け、これらに引き続き取り組んでいきたいと考えます。</p> <p>最後に、自由記載の中に、既に実施済みであったり、機会を設けているが、それをご存知なく参加できないというようなPR不足を表す意見が多数見られたことから、国の指標にも盛り込まれておりますデジタル化を目指し、デジタルコンテンツを併用した事業PRも目標に掲げられればと思っております。</p>

会長	<p>それでは、ただいま事務局から資料 5 について説明をいただきました。 何かご意見、ご質問等ありますでしょうか。 ではないようですのでこちらに沿ってご作成よろしく願いいたします。</p> <p>その他、全体を通して何かご質問等ご意見ありますでしょうか。 ないようですので、以上で全ての議題が終了し、議長の職を解かせていただきます。 ご協力ありがとうございました。</p>
----	---

○第2回 吉川市食育推進協議会の開催日程について  
令和5年9月19日(火) 午前9時から

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和5年 8月30日

署名委員 西村早苗

署名委員 田村芳之